

住職の佛教史 融通念佛宗

平安末期に去た良忍を初祖とし法明(鎌倉末)

大通(江戸)の三人を融通三祖として崇めていり

初祖良忍は比叡山で修行後山をおり京大原の地に
来迎院と浄蓮華院を創建し苦行練行に打ち込む
その修行方法は毎日六万遍の念佛を称え法華經を
書写するというもので毎日嚴しく修行を行った

又良忍は天台声明の中興の祖といわれ現在の浄土宗

声明も良忍が大成した「魚山流」を継承している

毎日の修行の中である日阿弥陀如来が良忍の前に

あらわれ「一人一人一切人一切人一行一切人一切人一行と

いう偈を阿弥陀如来から直接したといわれる

意味は一人が称える念佛の功德と万人の称える功德が

融通(共有)して往生が約束される 又この宗の行は

合唱の念佛である 皆が「うしよ」に称えれば功德が

融通しあうとされ人びとにこれに参加するよう勧めまわ

った

本山は大阪平野にある大念佛寺(創建は一二三七年)

日本最初の念佛道場である

住職の佛教史 融通念佛宗

平安末期に出た良忍を始祖とし、法名（鎌倉末）、大通（江戸）の三人を融通三祖として崇めている。初祖良忍は比叡山で修行後山をおり京大原の地に來迎院と淨蓮華院を創建し苦行連業に打ち込む。その修業業法は毎日六万遍の念佛を称え法華經を書写するというもので毎日厳しい修行を行った。又良忍は天台声明の中興の祖といわれ現在の浄土宗声明も良忍が大成した「魚山流」を継承している。毎日の修行の中である日、阿弥陀如来が良忍の前にあらわれ

「一人一切人 一切人一人 一行一切人 一切人一行」

という偈を阿弥陀如来から直授したといわれる。

意味は一人が称える念佛の功德と万人の称える功德が融通（共有）して往生が約束される。又この宗の行は合唱の念佛である。皆がいつしよに称えれば功德が融通しあうときれ人びとにこれに参加するよう勧めまわった。

本山は大阪平野にある大念佛寺（創建は一一二七年）日本最初の念佛道場である。

次回からやっと我宗時宗にはいります。

住職 仁阿